

2017年ドイツ国際情報通信技術見本市(CeBIT)について

平成 28 年 7 月
経 済 産 業 省

今般、IoT、ビッグデータ、AI、ロボット等先端技術を活用した B2B ソリューションの展示会である ドイツ国際情報通信技術見本市 (CeBIT) について、日本が 2017 年のパートナー国となることが決定しました。第 4 次産業革命に関する日独協力の一環として、本年 5 月、安倍首相とメルケル首相の間で合意に至ったものです。

本展示会への参加は、御社にとって、単なる製品・サービスの紹介とどまらない以下の意義を有すると考えておりますところ、CeBIT2017 に設置予定の ジャパンパビリオンへの出展について、積極的な御検討をいただきたく、お願い申し上げます。

【CeBIT への出展】

- グローバルな B2B ソリューション展への転換を果たした CeBIT への出展により、B2B ソリューション企業としてのブランドイメージの確立とビジネスパートナーの拡大を実現することが可能。
- 例年両国首脳が訪問するなど 注目度の高いパートナー国パビリオン への出展により、一層大きな効果が期待される。
- 第 4 次産業革命に関する 日本全体のイメージアップは、各社のビジネス展開にも資する。

【グローバルなビジネス環境整備への参画】

- OCEATEC、CeBIT、ドイツ G20 の機会を活用した グローバルなルール整備等に関する日独の産官協力プロセスへの参加は、個社を取り巻く グローバルな事業環境の改善につながる。

<参考>CeBIT の概要とパートナー国の取組み

【CeBIT の概要】 ※CeBIT 公式サイト：<http://www.cebit.de/home>

会期	2017年3月20日（月・祝）～24日（金） ※前回：2016年3月14日（月）～18日（金）
開催地	ハノーバー / ドイツ
主催	ドイツ・メッセ
展示分野	ビックデータ・ビジネスソリューション、ERP（企業資源計画）、ECM（エンタープライズ・コンテンツ・マネジメント）、Web & Mobile・ソリューション、IT サービス、IT インフラ&データセンター、セキュリティ等
出展企業数	70カ国・地域から3,300社（2016年実績）
来場者数	100以上の国・地域から約200,000人（2016年実績）

※日本からの出展者（海外法人含む）：

エヌ・ティ・ティ・データ、エプソン、京セラ、コア、コニカミノルタ、スリーアールソリューション、日本コントロールシステム、日本プリメックス、富士通、ブラザー、プラスワン・マーケティング

【パートナー国の政府・経済界の取組み】

○ジャパンパビリオンの出展（政府関係、日本企業による展示）

○各種イベントの実施

- レセプション等の開催（3回程度、開催前夜の Welcome Night や初日午前の Walk About（展示視察）には例年両国首相が出席
- コンファレンスの主催（1日セッション）
- 広報宣伝の実施

お問い合わせ先
商務情報政策局 情報通信機器課
03-3501-6944（直通）